

○牧原秀樹先生　ご祝辞

私は自由民主党厚生労働部会長として、厚生労働行政の適切な運用に尽力してまいりました。その過程で、日本人の伝統・文化・産業を支えてきた大切な農産物である大麻が危機的状態にあることを知りました。それも、敗戦後の占領政策の結果として、誤ってマリファナと混同されことに原因があり、当時の厚生労働関係者は、国産の安全な大麻の生産を守るために、占領軍の圧力に抗して、免許制度という形で、大麻生産を守ろうとしました。ところが、そうした先人の努力はいつしか忘れられ、国産大麻も危険であるかのような誤解が広がってしまいました。

しかし、関係者の皆様のご努力により、今その誤解が解けつつあります。厚生労働省もようやく大麻取締法の改正に着手しました。この機に当たって、自由民主党厚生労働部会としても、日本の伝統文化を守り、さらに骨太方針にしたがって、大麻関係の産業を発展させるために、法改正を次期国会もしくはその次の国会で実現すべく努力してまいります。

こうした折に、大麻産業全般の健全な発展を目指す麻産業創造開発機構が設立されたことは、誠に時宜を得たものと存じます。御機構のご尽力により、麻産業全般が大きく発展することを心から祈念いたします。本日は、まことにおめでとうございました。

令和4年8月2日

自由民主党厚生労働部会長

衆議院議員　牧原秀樹